

【正誤表】

箇所	誤	正																																																																																																																														
1-26ページ d.環境保全目標 表1-25	<p>表1-25 新ごみ処理施設環境保全目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>法規制値・許容基準値</th> <th>既存施設の自主基準値</th> <th>新施設の自主基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">排ガス</td> <td>ばいじん</td> <td>g/m³N</td> <td>0.08 以下</td> <td>0.01 以下</td> <td>0.01 以下</td> </tr> <tr> <td>塩化水素</td> <td>ppm</td> <td>約 430 以下</td> <td>50 以下</td> <td>50 以下</td> </tr> <tr> <td>硫黄酸化物</td> <td>ppm (K 値)</td> <td>(2.34) (※1)</td> <td>(2.34) (※1)</td> <td>50 以下</td> </tr> <tr> <td>窒素酸化物</td> <td>ppm</td> <td>250 以下</td> <td>150 以下</td> <td>100 以下</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類</td> <td>ng-TEQ /m³N</td> <td>0.1 以下</td> <td>0.1 以下</td> <td>0.05 以下</td> </tr> <tr> <td>水銀</td> <td>μg/m³N</td> <td>30 以下 (※2)</td> <td>50 以下</td> <td>30 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">騒音</td> <td>朝・夕</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>55 以下</td> <td>55 以下</td> </tr> <tr> <td>昼間</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>65 以下</td> <td>65 以下</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>50 以下</td> <td>50 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">振動</td> <td>昼間</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>65 以下</td> <td>65 以下</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>60 以下</td> <td>60 以下</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	法規制値・許容基準値	既存施設の自主基準値	新施設の自主基準値	排ガス	ばいじん	g/m³N	0.08 以下	0.01 以下	0.01 以下	塩化水素	ppm	約 430 以下	50 以下	50 以下	硫黄酸化物	ppm (K 値)	(2.34) (※1)	(2.34) (※1)	50 以下	窒素酸化物	ppm	250 以下	150 以下	100 以下	ダイオキシン類	ng-TEQ /m³N	0.1 以下	0.1 以下	0.05 以下	水銀	μg/m³N	30 以下 (※2)	50 以下	30 以下	騒音	朝・夕	デシベル	規制区域外	55 以下	55 以下	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下	夜間	デシベル	規制区域外	50 以下	50 以下	振動	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下	夜間	デシベル	規制区域外	60 以下	60 以下	<p>表1-25 新ごみ処理施設環境保全目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>法規制値・許容基準値</th> <th>既存施設の自主基準値</th> <th>新施設の自主基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">排ガス</td> <td>ばいじん</td> <td>g/m³N</td> <td>0.08 以下</td> <td>0.01 以下</td> <td>0.01 以下</td> </tr> <tr> <td>塩化水素</td> <td>ppm</td> <td>約 430 以下</td> <td>50 以下</td> <td>50 以下</td> </tr> <tr> <td>硫黄酸化物</td> <td>ppm (K 値)</td> <td>(2.34) (※1)</td> <td>(2.34) (※1)</td> <td>50 以下</td> </tr> <tr> <td>窒素酸化物</td> <td>ppm</td> <td>250 以下</td> <td>150 以下</td> <td>100 以下</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類</td> <td>ng-TEQ /m³N</td> <td>1 以下</td> <td>0.1 以下</td> <td>0.05 以下</td> </tr> <tr> <td>水銀</td> <td>μg/m³N</td> <td>30 以下 (※2)</td> <td>50 以下</td> <td>30 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">騒音</td> <td>朝・夕</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>55 以下</td> <td>55 以下</td> </tr> <tr> <td>昼間</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>65 以下</td> <td>65 以下</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>50 以下</td> <td>50 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">振動</td> <td>昼間</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>65 以下</td> <td>65 以下</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>60 以下</td> <td>60 以下</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	法規制値・許容基準値	既存施設の自主基準値	新施設の自主基準値	排ガス	ばいじん	g/m³N	0.08 以下	0.01 以下	0.01 以下	塩化水素	ppm	約 430 以下	50 以下	50 以下	硫黄酸化物	ppm (K 値)	(2.34) (※1)	(2.34) (※1)	50 以下	窒素酸化物	ppm	250 以下	150 以下	100 以下	ダイオキシン類	ng-TEQ /m³N	1 以下	0.1 以下	0.05 以下	水銀	μg/m³N	30 以下 (※2)	50 以下	30 以下	騒音	朝・夕	デシベル	規制区域外	55 以下	55 以下	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下	夜間	デシベル	規制区域外	50 以下	50 以下	振動	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下	夜間	デシベル	規制区域外	60 以下	60 以下
項目	単位	法規制値・許容基準値	既存施設の自主基準値	新施設の自主基準値																																																																																																																												
排ガス	ばいじん	g/m³N	0.08 以下	0.01 以下	0.01 以下																																																																																																																											
	塩化水素	ppm	約 430 以下	50 以下	50 以下																																																																																																																											
	硫黄酸化物	ppm (K 値)	(2.34) (※1)	(2.34) (※1)	50 以下																																																																																																																											
	窒素酸化物	ppm	250 以下	150 以下	100 以下																																																																																																																											
	ダイオキシン類	ng-TEQ /m³N	0.1 以下	0.1 以下	0.05 以下																																																																																																																											
	水銀	μg/m³N	30 以下 (※2)	50 以下	30 以下																																																																																																																											
騒音	朝・夕	デシベル	規制区域外	55 以下	55 以下																																																																																																																											
	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下																																																																																																																											
	夜間	デシベル	規制区域外	50 以下	50 以下																																																																																																																											
振動	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下																																																																																																																											
	夜間	デシベル	規制区域外	60 以下	60 以下																																																																																																																											
項目	単位	法規制値・許容基準値	既存施設の自主基準値	新施設の自主基準値																																																																																																																												
排ガス	ばいじん	g/m³N	0.08 以下	0.01 以下	0.01 以下																																																																																																																											
	塩化水素	ppm	約 430 以下	50 以下	50 以下																																																																																																																											
	硫黄酸化物	ppm (K 値)	(2.34) (※1)	(2.34) (※1)	50 以下																																																																																																																											
	窒素酸化物	ppm	250 以下	150 以下	100 以下																																																																																																																											
	ダイオキシン類	ng-TEQ /m³N	1 以下	0.1 以下	0.05 以下																																																																																																																											
	水銀	μg/m³N	30 以下 (※2)	50 以下	30 以下																																																																																																																											
騒音	朝・夕	デシベル	規制区域外	55 以下	55 以下																																																																																																																											
	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下																																																																																																																											
	夜間	デシベル	規制区域外	50 以下	50 以下																																																																																																																											
振動	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下																																																																																																																											
	夜間	デシベル	規制区域外	60 以下	60 以下																																																																																																																											
2-76ページ ア.景観 上から3行目	<p>により確認し、施設が視認可能である主要な地点を抽出した。</p>	<p>により確認し、施設が視認可能と想定される主要な地点を抽出した。</p>																																																																																																																														
3-9ページ 表3-7	<p>表3-7 高質ごみの各成分から推定した排ガス量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>値</th> <th>計算式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理論空気量 L0</td> <td>m³N/kg</td> <td>4.13</td> <td>8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s</td> </tr> <tr> <td>空気比 λ</td> <td>-</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ごみ 1kg あたりのガス量 (湿)</td> <td>m³N/kg</td> <td>6.18</td> <td>1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-Vw)0.21)L0</td> </tr> <tr> <td>ごみ 1kg あたりのガス量 (乾)</td> <td>m³N/kg</td> <td>5.21</td> <td>1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td> </tr> <tr> <td>ごみ処理量 A</td> <td>kg/h</td> <td>5,125</td> <td>124(t/24h)÷24×1000</td> </tr> <tr> <td>排ガス量 (湿) 【推定値】</td> <td>m³N/kg</td> <td>31,673</td> <td>Vw×A</td> </tr> <tr> <td>排ガス量 (乾) 【推定値】</td> <td>m³N/kg</td> <td>26,701</td> <td>Vd×A</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	値	計算式	理論空気量 L0	m³N/kg	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s	空気比 λ	-	1.3		ごみ 1kg あたりのガス量 (湿)	m³N/kg	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-Vw)0.21)L0	ごみ 1kg あたりのガス量 (乾)	m³N/kg	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ処理量 A	kg/h	5,125	124(t/24h)÷24×1000	排ガス量 (湿) 【推定値】	m³N/kg	31,673	Vw×A	排ガス量 (乾) 【推定値】	m³N/kg	26,701	Vd×A	<p>表3-7 高質ごみの各成分から推定した排ガス量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>値</th> <th>計算式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理論空気量 L0</td> <td>m³N/kg</td> <td>4.13</td> <td>8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s</td> </tr> <tr> <td>空気比 λ</td> <td>-</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ごみ 1kg あたりのガス量 (湿)</td> <td>m³N/kg</td> <td>6.18</td> <td>1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-Vw)0.21)L0</td> </tr> <tr> <td>ごみ 1kg あたりのガス量 (乾)</td> <td>m³N/kg</td> <td>5.21</td> <td>1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td> </tr> <tr> <td>ごみ処理量 A</td> <td>kg/h</td> <td>5,125</td> <td>124(t/24h)÷24×1000</td> </tr> <tr> <td>排ガス量 (湿) 【推定値】</td> <td>m³N/h</td> <td>31,673</td> <td>Vw×A</td> </tr> <tr> <td>排ガス量 (乾) 【推定値】</td> <td>m³N/h</td> <td>26,701</td> <td>Vd×A</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	値	計算式	理論空気量 L0	m³N/kg	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s	空気比 λ	-	1.3		ごみ 1kg あたりのガス量 (湿)	m³N/kg	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-Vw)0.21)L0	ごみ 1kg あたりのガス量 (乾)	m³N/kg	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ処理量 A	kg/h	5,125	124(t/24h)÷24×1000	排ガス量 (湿) 【推定値】	m³N/h	31,673	Vw×A	排ガス量 (乾) 【推定値】	m³N/h	26,701	Vd×A																																																														
項目	単位	値	計算式																																																																																																																													
理論空気量 L0	m³N/kg	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s																																																																																																																													
空気比 λ	-	1.3																																																																																																																														
ごみ 1kg あたりのガス量 (湿)	m³N/kg	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-Vw)0.21)L0																																																																																																																													
ごみ 1kg あたりのガス量 (乾)	m³N/kg	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																																																																																													
ごみ処理量 A	kg/h	5,125	124(t/24h)÷24×1000																																																																																																																													
排ガス量 (湿) 【推定値】	m³N/kg	31,673	Vw×A																																																																																																																													
排ガス量 (乾) 【推定値】	m³N/kg	26,701	Vd×A																																																																																																																													
項目	単位	値	計算式																																																																																																																													
理論空気量 L0	m³N/kg	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s																																																																																																																													
空気比 λ	-	1.3																																																																																																																														
ごみ 1kg あたりのガス量 (湿)	m³N/kg	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-Vw)0.21)L0																																																																																																																													
ごみ 1kg あたりのガス量 (乾)	m³N/kg	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																																																																																													
ごみ処理量 A	kg/h	5,125	124(t/24h)÷24×1000																																																																																																																													
排ガス量 (湿) 【推定値】	m³N/h	31,673	Vw×A																																																																																																																													
排ガス量 (乾) 【推定値】	m³N/h	26,701	Vd×A																																																																																																																													

箇所	誤	正																																																								
<p>3-10ページ 表3-9</p>	<p>表3-9 バックグラウンド濃度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>バックグラウンド濃度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄</td> <td>0.001ppm</td> <td>久御山測定局R3～R5の年平均値の平均</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素</td> <td>0.01ppm</td> <td>大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質</td> <td>0.015mg/m³</td> <td>大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類</td> <td>0.015pg-TEQ/m³</td> <td>久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）</td> </tr> <tr> <td>水銀</td> <td>1.63μg/m³</td> <td>久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）</td> </tr> </tbody> </table>	項目	バックグラウンド濃度	備考	二酸化硫黄	0.001ppm	久御山測定局R3～R5の年平均値の平均	二酸化窒素	0.01ppm	大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均	浮遊粒子状物質	0.015mg/m ³	大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均	ダイオキシン類	0.015pg-TEQ/m ³	久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）	水銀	1.63μg/m ³	久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）	<p>表3-9 バックグラウンド濃度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>バックグラウンド濃度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄</td> <td>0.001ppm</td> <td>久御山測定局 R3～R5の年平均値の平均</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素</td> <td>0.01ppm</td> <td>大山崎測定局 R3～R5の年平均値の平均</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質</td> <td>0.015mg/m³</td> <td>大山崎測定局 R3～R5の年平均値の平均</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類</td> <td>0.015pg-TEQ/m³</td> <td>久御山測定局での R3～R5の年平均値（1回/年）</td> </tr> <tr> <td>水銀</td> <td>1.63ng/m³</td> <td>久御山測定局での R3～R5の年平均値（1回/年）</td> </tr> </tbody> </table>	項目	バックグラウンド濃度	備考	二酸化硫黄	0.001ppm	久御山測定局 R3～R5の年平均値の平均	二酸化窒素	0.01ppm	大山崎測定局 R3～R5の年平均値の平均	浮遊粒子状物質	0.015mg/m ³	大山崎測定局 R3～R5の年平均値の平均	ダイオキシン類	0.015pg-TEQ/m ³	久御山測定局での R3～R5の年平均値（1回/年）	水銀	1.63ng/m ³	久御山測定局での R3～R5の年平均値（1回/年）																				
項目	バックグラウンド濃度	備考																																																								
二酸化硫黄	0.001ppm	久御山測定局R3～R5の年平均値の平均																																																								
二酸化窒素	0.01ppm	大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均																																																								
浮遊粒子状物質	0.015mg/m ³	大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均																																																								
ダイオキシン類	0.015pg-TEQ/m ³	久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）																																																								
水銀	1.63μg/m ³	久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）																																																								
項目	バックグラウンド濃度	備考																																																								
二酸化硫黄	0.001ppm	久御山測定局 R3～R5の年平均値の平均																																																								
二酸化窒素	0.01ppm	大山崎測定局 R3～R5の年平均値の平均																																																								
浮遊粒子状物質	0.015mg/m ³	大山崎測定局 R3～R5の年平均値の平均																																																								
ダイオキシン類	0.015pg-TEQ/m ³	久御山測定局での R3～R5の年平均値（1回/年）																																																								
水銀	1.63ng/m ³	久御山測定局での R3～R5の年平均値（1回/年）																																																								
<p>6-3ページ 6-1-1大気質 表6-1 現地調査 沿道大気質 調査期間等</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目</th> <th>調査手法</th> <th>調査対象地域・地点</th> <th>調査期間等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">沿道大気質</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質</td> <td>ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)</td> <td rowspan="3">(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート(A)(B)の2地点 (図6-2参照)</td> <td rowspan="3">各季1週間(7日間)(※) (1時間値測定) (1地点につき1検体/日)</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素</td> <td>ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)</td> </tr> <tr> <td>微小粒子状物質</td> <td>ステーション設置による自動連続測定 ・濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法 (測定高さ：地上3m)</td> </tr> <tr> <td>粉じん</td> <td>サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)</td> <td></td> <td>各季1ヵ月(30日間)(※) (1地点につき1検体/月)</td> </tr> </tbody> </table>	調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等	沿道大気質				浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)	(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート(A)(B)の2地点 (図6-2参照)	各季1週間(7日間)(※) (1時間値測定) (1地点につき1検体/日)	二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)	微小粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法 (測定高さ：地上3m)	粉じん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)		各季1ヵ月(30日間)(※) (1地点につき1検体/月)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目</th> <th>調査手法</th> <th>調査対象地域・地点</th> <th>調査期間等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">沿道大気質</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質</td> <td>ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)</td> <td rowspan="3">(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート(A)(B)の2地点 (図6-2参照)</td> <td rowspan="3">各季1週間(7日間)(※) (1時間値測定)</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素</td> <td>ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)</td> </tr> <tr> <td>微小粒子状物質</td> <td>ステーション設置による自動連続測定 ・濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法 (測定高さ：地上3m)</td> </tr> <tr> <td>粉じん</td> <td>サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)</td> <td></td> <td>各季1ヵ月(30日間)(※) (1地点につき1検体/月)</td> </tr> </tbody> </table>	調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等	沿道大気質				浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)	(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート(A)(B)の2地点 (図6-2参照)	各季1週間(7日間)(※) (1時間値測定)	二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)	微小粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法 (測定高さ：地上3m)	粉じん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)		各季1ヵ月(30日間)(※) (1地点につき1検体/月)																
調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等																																																							
沿道大気質																																																										
浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)	(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート(A)(B)の2地点 (図6-2参照)	各季1週間(7日間)(※) (1時間値測定) (1地点につき1検体/日)																																																							
二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)																																																									
微小粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法 (測定高さ：地上3m)																																																									
粉じん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)		各季1ヵ月(30日間)(※) (1地点につき1検体/月)																																																							
調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等																																																							
沿道大気質																																																										
浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)	(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート(A)(B)の2地点 (図6-2参照)	各季1週間(7日間)(※) (1時間値測定)																																																							
二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)																																																									
微小粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法 (測定高さ：地上3m)																																																									
粉じん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)		各季1ヵ月(30日間)(※) (1地点につき1検体/月)																																																							
<p>6-32ページ 6-2-3振動 表6-14 供用時 予測地域・地点</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">供用時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">施設の稼働</td> </tr> <tr> <td colspan="4">工場・事業場振動(振動レベル80%レンジ上端値)</td> </tr> <tr> <td>「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針(平成18年9月 環境省)」に示された振動の伝搬計算式により数値計算</td> <td>(地域)対象事業実施区域周辺 (地点)対象事業実施区域(敷地境界)(振動レベルが最大となる地点)</td> <td>事業活動が定常状態となる時期</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">廃棄物運搬車両等の走行</td> </tr> <tr> <td colspan="4">道路交通振動(振動レベル80%レンジ上端値)</td> </tr> <tr> <td>「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版 土木研究所資料第4254号)」に示された振動の伝搬計算式により数値計算</td> <td>(地域)運搬車両の走行道路沿道 (地点)運搬車両の走行ルート(A)(B)の2地点(図6-11参照)</td> <td>供用時による環境影響が最大となる時期</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	供用時				施設の稼働				工場・事業場振動(振動レベル80%レンジ上端値)				「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針(平成18年9月 環境省)」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	(地域)対象事業実施区域周辺 (地点)対象事業実施区域(敷地境界)(振動レベルが最大となる地点)	事業活動が定常状態となる時期		廃棄物運搬車両等の走行				道路交通振動(振動レベル80%レンジ上端値)				「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版 土木研究所資料第4254号)」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	(地域)運搬車両の走行道路沿道 (地点)運搬車両の走行ルート(A)(B)の2地点(図6-11参照)	供用時による環境影響が最大となる時期		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">供用時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">施設の稼働</td> </tr> <tr> <td colspan="4">工場・事業場振動(振動レベル80%レンジ上端値)</td> </tr> <tr> <td>「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針(平成18年9月 環境省)」に示された振動の伝搬計算式により数値計算</td> <td>(地域)対象事業実施区域周辺 (地点)対象事業実施区域(敷地境界)(振動レベルが最大となる地点)</td> <td>事業活動が定常状態となる時期</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">廃棄物運搬車両等の走行</td> </tr> <tr> <td colspan="4">道路交通振動(振動レベル80%レンジ上端値)</td> </tr> <tr> <td>「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版 土木研究所資料第4254号)」に示された振動の伝搬計算式により数値計算</td> <td>(地域)運搬車両の走行道路沿道 (地点)運搬車両の走行ルート(A)の1地点(図6-11参照)</td> <td>供用時による環境影響が最大となる時期</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	供用時				施設の稼働				工場・事業場振動(振動レベル80%レンジ上端値)				「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針(平成18年9月 環境省)」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	(地域)対象事業実施区域周辺 (地点)対象事業実施区域(敷地境界)(振動レベルが最大となる地点)	事業活動が定常状態となる時期		廃棄物運搬車両等の走行				道路交通振動(振動レベル80%レンジ上端値)				「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版 土木研究所資料第4254号)」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	(地域)運搬車両の走行道路沿道 (地点)運搬車両の走行ルート(A)の1地点(図6-11参照)	供用時による環境影響が最大となる時期	
供用時																																																										
施設の稼働																																																										
工場・事業場振動(振動レベル80%レンジ上端値)																																																										
「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針(平成18年9月 環境省)」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	(地域)対象事業実施区域周辺 (地点)対象事業実施区域(敷地境界)(振動レベルが最大となる地点)	事業活動が定常状態となる時期																																																								
廃棄物運搬車両等の走行																																																										
道路交通振動(振動レベル80%レンジ上端値)																																																										
「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版 土木研究所資料第4254号)」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	(地域)運搬車両の走行道路沿道 (地点)運搬車両の走行ルート(A)(B)の2地点(図6-11参照)	供用時による環境影響が最大となる時期																																																								
供用時																																																										
施設の稼働																																																										
工場・事業場振動(振動レベル80%レンジ上端値)																																																										
「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針(平成18年9月 環境省)」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	(地域)対象事業実施区域周辺 (地点)対象事業実施区域(敷地境界)(振動レベルが最大となる地点)	事業活動が定常状態となる時期																																																								
廃棄物運搬車両等の走行																																																										
道路交通振動(振動レベル80%レンジ上端値)																																																										
「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版 土木研究所資料第4254号)」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	(地域)運搬車両の走行道路沿道 (地点)運搬車両の走行ルート(A)の1地点(図6-11参照)	供用時による環境影響が最大となる時期																																																								